



社会福祉法人たちばな会 認定こども園たちばな
園長 関口 裕司 先生

拝啓

晩夏の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。本学の基礎研究実施にあたっては、多大なるご協力を賜り深く感謝申し上げます。

おかげさまで、過日ご依頼した腸内細菌叢の研究を無事遂行することができ、日本全国で計 1300 組以上のご家庭にご協力いただくことができました。世界最先端の研究成果が見えてまいりましたので、一部簡単にではありますが、ご報告させていただきます。同封の別紙をご参照ください。

今後も本研究を継続し、その成果を、貴園をはじめ現場の先生方、親御さんの日常に活かしていただくことを目指して研究を進めてまいります。

今後ともご支援、ご高配いただけますと幸いです。本学の研究活動へのお力添え、重ねて御礼申し上げます。ありがとうございました。

敬具

2023 年 9 月 5 日

京都大学大学院教育学研究科 教授

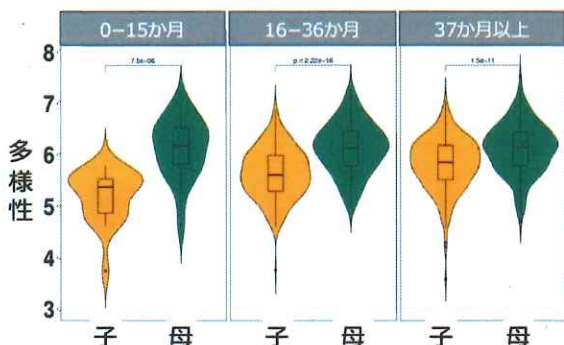
明和政子

日本人母子を対象とした腸内細菌叢データベースを初めて構築！

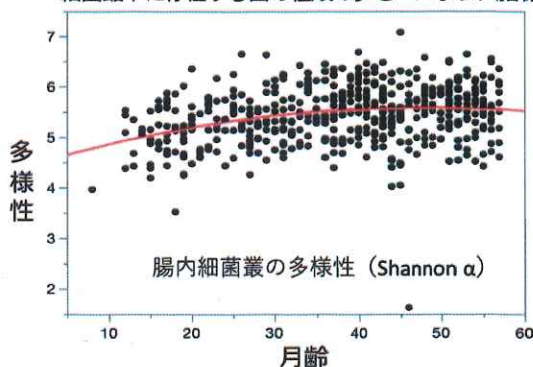
日本人の腸内フローラは「5歳ごろ」に安定

5歳ごろまでに腸内環境をしっかりと整える発達支援が重要！

月齢にしたがって母子間の多様性の差は小さくなる



「多様性」インデックス
細菌叢中に存在する菌の種類の多さ・バランス指標

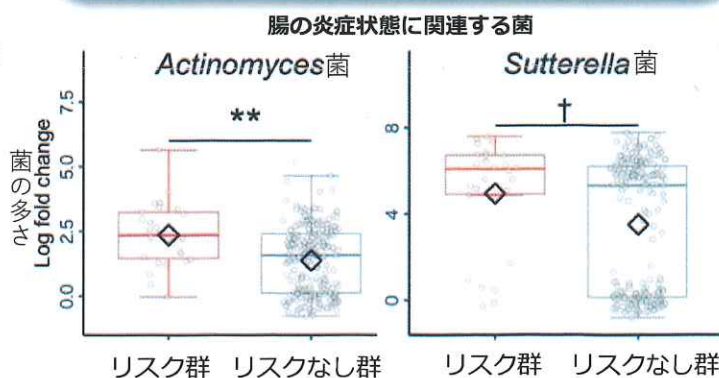
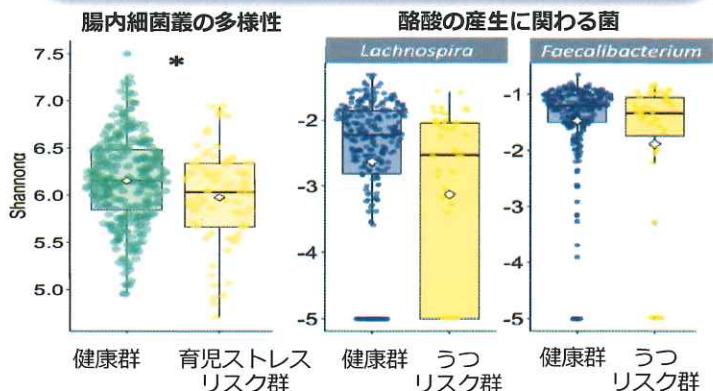


0-4歳の
子どもと母親
1353組分の
データが
集まりました！



育児ストレスやうつリスクが
高いお母様では
腸内細菌叢の多様性が低い
特に、酪酸産生菌が少ない状態

感情をコントロールすることを
苦手とするお子様では
炎症に関わる腸内細菌が多い状態



* 酪酸産生菌：悪玉菌の発育を抑制し善玉菌が棲みやすい腸内環境に整える。お通じを良くしたり水分やミネラルの吸収も促進。

腸内細菌叢の状態や心身の健康状態に、野菜の摂取や日本食をベースとした食習慣が関わっていることも見えてきています。親子の心身を守る「科学的エビデンスにもとづく」発達支援を目指し、引き続き研究を進めてまいります。ご協力ありがとうございました。